

令和7年第6回甲賀市議会定例会
請 願 文 書 表

受理 番号	受理 年月日	件名	請願者氏名	要旨	紹介議員	付託 委員会
第1号	R7.11.19	衆院比例定数削減に 反対する意見書の提 出を求める請願	日本国民救援会甲賀支部 支部長 安井直明 甲賀市土山町前野541 甲賀市平和委員会 代表理事 吉川良昭 甲賀市甲賀町高峰900 新日本婦人の会甲賀支部 支部長 田代君代 甲賀市水口町泉564 治安維持法犠牲者国家賠償 要求同盟甲賀湖南支部 事務局長 小西喜代次 甲賀市信楽町勅旨456	別紙の とおり	西山 実 岡田重美	総務 常任委員会

衆院比例定数削減に反対する意見書を求める請願

(の提出)

2025 年 11 月 9 日

甲賀市議会議長 戒脇 浩様

請願者

日本国民救援会甲賀支部 支部長 安井直明

甲賀市土山町前野 541

甲賀市平和委員会 代表理事 吉川良昭

甲賀市甲賀町高峰 900

新日本婦人の会甲賀支部 支部長 田代君代

甲賀市水口町泉 564

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟甲賀湖南支部

事務局長 小西喜代次

甲賀市信楽町勅旨 456

紹介議員

西山

岡田

奥

重美

【請願趣旨】

自民党と日本維新の会は「衆議院議員定数の1割削減」を「連立の絶対条件」として強引に進めようとしています。

日本国憲法前文の冒頭で書かれているように、国会議員は主権者・国民の代表であり、国民の要求・意見を国会に反映させる手段です。

国会議員定数のあり方は、国民の代表をどう選ぶかという選挙制度の根幹をなす問題です。選挙制度は民主主義の土台であり、国民の参政権そのものです。国民的な議論が欠かせません。

現行の衆議院小選挙区比例代表並立制は小選挙区が中心です。1人しか当選しない小選挙区は多数の「死票」を生み出し、比較第1党が議席を占めて虚構の多数をつくりだしています。比例削減は多様な民意の議席への反映をよりいっそう困難にし、少数意見や少数政党の排除につながります。その結果、国会の最も大事な役割である政府や行政を監視する機能が弱められます。

すでに、衆院の総定数は465にまで削減され、戦後80年で最も国会議員が少ない水準となっています。国際的にみても、人口100万人当たりの日本の議員数は、OECD（経済協力開発機構）加盟38カ国の中で36番目という少なさです。歴史的にも国際的にも日本は議員が少ない国となっています。

2016年1月の衆議院選挙制度に関する調査会答申にあるように、議員定数を削減する「積極的理由や理論的根拠は見いだし難い」というのが、これまでの国会論戦の結論です。議論の経緯をいっさい無視し、政権維持のために与党だけで勝手に決めることは許されません。

【請願事項】

甲賀市議会において、国に対し「衆院比例定数削減に反対する意見書」の提出を求める。

以上